

監獄教室



分校の女性教員1名、
女子生徒4名が校外学習に
向かったまま戻らず、
5日経過した現在も
行方不明となっている。

連日、警察や村の
捜索隊が行方を
探しているが、手がかりは
一向に見つかっていない。
警察は付近の住民に
情報提供を呼びかけている。



5人はある犯罪組織に誘拐され、「監獄」と呼ばれる施設に監禁されていた。

通称「監獄」と呼ばれているこの施設では誘拐や

人身売買によって連れて来た人間を囚人として扱い、労働を強いている。

ここでの労働とはアダルトビデオへの出演だ。当然、彼女達に拒否権は存在しない。

撮影された作品は特別な契約を結んでいる顧客にのみ、販売を行っている。

「監獄」は言わば、犯罪組織が所有する撮影所。今回、新たな作品の為に「監獄」は本物の教師と生徒を用意した。作品の題名は「監獄教室」。

「皆様、初めまして…。教師の優木泉と申します。今日からこの教室の先生になりました。私の大切な生徒を紹介させていただきます。まず私の隣から…、中村雫さん。とっても真面目な優等生で、いつもクラスをまとめてくれています。

工藤詩音さん。物静かな子ですが、楽器の演奏がとても上手で、中村さんとは幼なじみです。大浦朱音さん。水泳が大好きでいつでも元氣いっぱいなクラスのムードメーカーです。ソフィア・ミラーさん。感情表現が豊かですぐに誰とでも仲良くなれる優しい子です。

さあ、みんな…今日から私達は囚人です。苦しい事、辛い事、痛い事をたくさん学んで、良い囚人にならなくてははいけません…。改めて今日からお世話になる皆様に大きな声で挨拶をしましょう。」

『『『みなさま、よろしくお願ひします!』』』



泉にだけは教師役として事前に台本が渡されている。

台本には大まかな

撮影の流れ、セリフや

指示が書かれていた。

挨拶の後は生徒に性行為の

授業を行えと指示されていた。

泉は羞恥心を押し殺し、

台本通りに生徒達に自慰のやり方を

説明し、自慰をさせた状態で自分は

性交の実演を始めた。

「男性器が大きく固くなったら…んっ…
こうやって…女性器に挿入して…」

『泉先生…
痛くないの？』
とソフィアが
質問する。

「……最初は痛いと思うけど…
みんな頑張って我慢しようね…」

『私達…赤ちゃんを産むの？』
雫が不安そうに泉を見つめる。

「…私達は四人だから、赤ちゃんを
産むか、産まないかは自分では…
決められないの…。それじゃあ、
みんなも特別講師の方々と…
セックスをやってみましよう…」

「挿入出来たら腰を動かして
出し入れする事で、男性器から
精液って白い体液を女性器の中に
出してもらうの…。
これがセックス…こうする事で
女性は妊娠して赤ちゃんを産むの。」



泉のセリフを合図に「監獄」の構成員である特別講師役の男達は一斉に生徒達を犯し始めた。栗と詩音の膣に男達の巨大な男性器が無理やりねじ込まれていく。

『ひっ…あっ…あがああああっ！』
『いっああ…ああああああっ！』
幼なじみの少女二人の処女が同時に呆気なく奪われた。

絶叫する二人に構わず男達は欲望のままに激しく腰を打ち付ける。二人の性器からは血が滴り落ちていた。

あぁあぁ

ドキッ

ドキッ

ドキッ



朱音とソフィアも
激しく犯されていた。

想像を絶する
痛みに二人は
泣き叫ぶしか
ない。

ぎゃあ

『いだっ！いだい！いっ！』

男は逃げようとする朱音の髪を掴み
痛みから逃れる事を許さない。

『パパっー！ママっー！』

両親に必死に助けを求める
ソフィアの悲痛な叫びも
男達にとってみれば、
作品を盛り上げてくれる
助けにしかない。

ぱー！
やんばあ



「…お願いします！」

もうやめっ…えっ…？…がはっ！？」

泉が生徒達の痛々しい叫び声に耐え切れず、駆け寄ろうとした瞬間泉は羽交い締めになれ、無防備な腹部に強烈な蹴りが入った。

あーん

ズ
ン

息が止まりそうな衝撃に泉がうずくまるのを気にも掛けず、男達は生徒達に淡々と告げる。
セックスの基本は分かったね？
次は応用として暴力を交えたセックスを学んでいこう。
さらなる恐怖に生徒達の表情は一樣に凍りついた…。



雫は先程まで男達がどれだけ
手加減をしていたのかを思い知った。
喉と膣に挿入された串刺し状態の所を
更に腹部を連続で殴打される。
雫が悶え苦しみ、嘔吐しても
男達の暴行は止まらなかった。

ビビッ

ズッ

ギョ

ギョ

男が詩音の肛門に力尽くで性器を挿入する。
『ひぐうっうううっ!』

予想していなかった場所からの唐突な激痛に詩音は
目を見開き混乱する。そこに追い打ちをかける様に
もう一人の男が腹部に、重い拳をめり込ませる。
自分が苦しむ姿を見て笑う男達に、詩音の心は
恐怖と絶望で壊れる寸前だった。





朱音は首を絞め上げられた状態でサンドバッグの様に腹を殴られた。
しかも男は最初に殴った位置と同じ所を何度も何度も執拗に殴った。
『がっ……やめ……死……じんじゃ……う……』
だずげ……で……。おね……がっ……いじまず……。』
朱音の必死の懇願も無視され、男達が満足するまで殴られ続けた。



ソフィアも他の生徒と同様に
腹部を殴打されていたが、
あまりの痛みに気絶してしまった。
当然、男達はそれを許さない。
居眠りはいけないな、
そう言っって男はソフィアの
顔面を全力で殴った。

衝撃で意識が戻った
ソフィアを男は更に絶望させる。
また居眠りした時には鼻の骨を
折るからね、と男は笑顔で言う。
ソフィアは気を失わない様に
恐怖の中、決死の覚悟で
暴力の嵐に耐え続けた。

バ
ギ
ッ

ビ
ッ

お
ー
ッ

中出し
いずみ先生 正正正正正
しずく 正正正正正
しおん 正正正正正
あかね 正正正正正
ソフィア 正正正正正

拷問

散々犯され、罵られ続け、疲労困憊で倒れる5人だったが、泉だけが教室の外に連れて行かれた。数分後、普段の清楚な姿からは想像も出来ない卑猥な服を着せられた泉が戻って来た。「みんな…セックスは囚人にとっての一番の基本になります。特に大切なのが精液を女性器の中で出していただく事でこれを中出しと言います…。」
今日学んだ事はもちろん、中出しの回数も必ず覚えておきましょう。」

「特別講師の皆様には一旦休憩を取っていただき、この後は先生だけで教えていきます。
次の授業は…拷問です。
さっきみんなが体験したセックスや暴力よりも痛くて苦しい授業になります…。
先生も頑張るから…みんなも…頑張ろうね。」

教師にとって大切な生徒達を、自らの手で拷問しなければならぬ絶望…。人一倍心優しい泉には自身が拷問を受ける以上の苦痛を伴うものだった。しかし、拒否すれば命の保証はない以上、泉に選択肢はなかった。



『ひぎゃあああああっ!! いただいっ!!
いただいっ!! 泉先生! やめでえええっ!!』

あああああ

罎は石抱と呼ばれる
三角の木材が並んだ板の上に
正座させられ、膝の上に
重い石板を積まれる
拷問を受けていた。
すでに罎の倍以上の
重さの石板が膝の上に
置かれて、男達は泉に
関わらず、男達は泉に
石板に体重をかけると
指示を出す。

泉は指示に従うしかなく、
意を決して石板を踏み付けた。
絶叫する罎の声に
泉は心の中で謝り続けた。

あゝ

グイッ



パ
ン
ッ

ガ
ッ
ギ
ッ
...

ギ
ッ
ギ
ッ

ガ
ッ
...

パ
ン
ッ

詩音は首を吊られた状態で
一本鞭での激しい鞭打ちを受けていた。
首にくくられた縄はつま先立ちをして
どうにか呼吸が出来る位置に固定されている。
そんな極限の状態の詩音に泉は全力で鞭を振らなければならなかった。
鞭を振るう毎に詩音の体に傷跡が増え、同時に泉の心をえぐっていく……。
せめて早くこの苦しみが終わる事を願い、泉は必死に鞭を振った。



あががあが
あががあが

ビーン

ビーン

朱音の肛門を泉の手が貫いた。
手足を拘束され、宙吊りにされた。
朱音に逃れる方法はない。
ローションの使用すら許されず、
泉は自らの唾液のみで、拳を
挿入させなければならなかった。
無垢な状態の肛門へのローションなしの
アナルフイストに朱音は絶叫し失禁する。
泉は朱音の尿を浴びながら、早く拳を
抜き出す指示が来ないかと震えながら待っていた。



男達が泉にペニバンを手渡す。
それで宙吊りにされたソフィアを
犯せという指示だ。しかし、
渡されたペニバンは想像を
絶する巨大なものだった。
長さもさることながら
太さは講師役の男達と
比べ倍以上は
優にある。

『やめて…泉先生…』

そんなの入らない…。

入らっ…ああああっ!!

が…あ…おがつ…やっ…

おっ…ごおおおおっ!!

ギョ

ギョ

先っぽを入れるだけで
精一杯にも関わらず、
ここから更に腰を
激しくピストンさせると
泉は指示されていた…。

あゝあゝあゝ

泉は生徒達と分校で過ごした
日々を思い返した…。
都内の学校で働いていた頃とは
違う、一人ひとりの生徒と
向き合える時間は泉にとって
理想の環境だった。
雫、詩音、朱音、ソフィア…、
彼女達との思い出はどれも
かけがえのないものだった…。
……きつと助けが来る。
今はどんなに辛くても
生徒達の命を守るなら…。
そう決意し、泉は歯を
食いしばり、ソフィアの足を
強く掴んだ…。
——教室は暫くの間、
ソフィアの絶叫に包まれた。

長かった拷問の授業が
終わり、男達が給食の
時間だと伝える。

撮影が始まってから、すでに
15時間以上が経過していたが
その間、5人は食べ物は
おろか水さえ与えられて
いなかった。

普通の食事が出来ると
思った5人だが、期待は
すぐにかき消された。

男達は牛乳と浣腸器を
取り出し、生徒達の肛門に
次々と牛乳を注入していく。

飲んでいいのは肛門から
出した分だけだと男は言った。

生徒達は泣きながら、
床に置かれたペット用の
餌皿に牛乳を排泄した。
自分の肛門から出た牛乳を
一滴残さず飲まされ、床に溢れた
牛乳も舐め取るように指示された。



男達は牛乳を飲み終えた生徒達に再び牛乳を肛門へ注入していく。先程よりも巨大な浣腸器を使用し、1人1リットルの牛乳が肛門に流し込まれた。男達は先生の分だと言って、極太のストローを生徒達の肛門に突き刺す。

ゲイン

ゲイン

更に先生が飲み終わる前に漏らした奴には今の倍を入れ直すと生徒達を脅す。それを聞いて泉は急いで肛門に刺さったストローから牛乳を吸い上げていく。肛門に注がれたものを飲むという、教育者どころか人間としてあるまじき行為…しかし、『監獄』にそんな常識は存在しない。泉は何度もえすきながら、どうにか牛乳を飲み干した。



給食の時間の次は、休憩を終えた男達に全身が精液まみれになるまで5人は徹底的に犯され続けた…。

そして体力も気力もすでに限界の状態ですラストシーンの撮影が始まった。

「皆様、今日は私達囚人の為にお時間を割いていただき、誠にありがとうございます…。特別講師の皆様にご教授いただいた事を胸に刻み、より良い囚人を目指していきます。そして：「監獄教室」を

御覧いただいた皆様、感謝いたします。

私達が犯され泣き叫ぶ姿や

暴力によって苦しむ姿、

拷問で絶叫する姿、

人間にあるまじき無様な姿、

どんな姿であっても少しでも

楽しんでいただけたなら

囚人としてこれ以上の

喜びはありません。

さあ、みんな…最後に大きな声で

お礼言います。せーの…」

「『『『ありがとうございます！』』』」

こうして「監獄教室」の撮影は完了した…。

撮影後、囚人は適切な治療を受ける事になる。

しかし、それは彼女達の為ではなく、囚人としての

商品価値を維持する為でしかない。

治療を終えた後、囚人は牢の中で

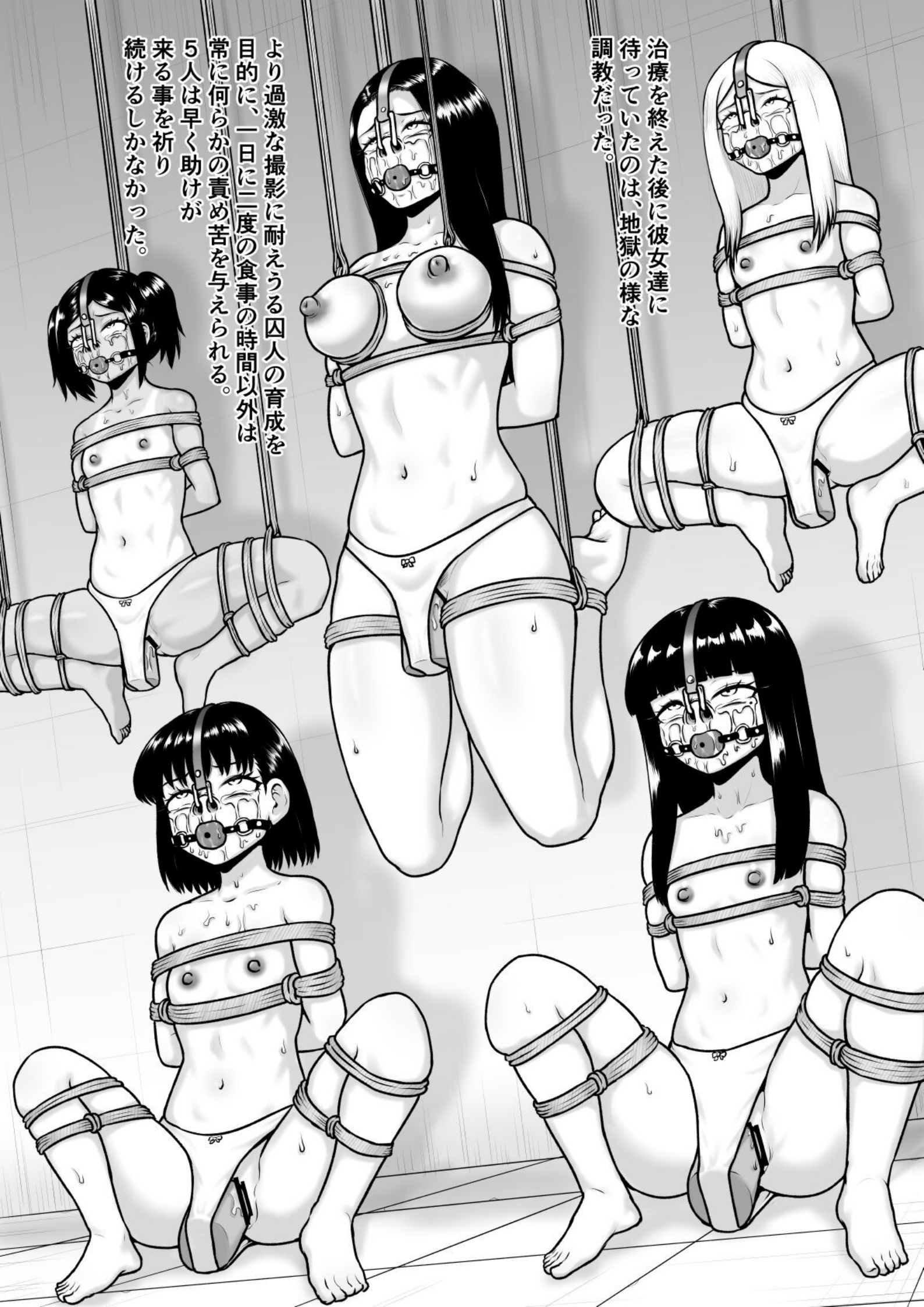
次の作品の撮影が始まるのを待つのだが、

「監獄」はただ待つのを許す様な組織ではない…。



治療を終えた後に彼女達に
待っていたのは、地獄の様な
調教だった。

より過激な撮影に耐えうる囚人の育成を
目的に、一日に二度の食事の時間以外は
常に何らかの責め苦を与えられる。
5人は早く助けが
来る事を祈り
続けるしかなかった。



——ヶ月後。

5人はそれぞれ別の作品への出演が決まり撮影が始まっていた。

雫の新たな出演作の題名は「50」

50時間50人の男達に

犯され続ける過酷な撮影だ。

あ……あああ……

膣や肛門から溢れ出た精液や雫が吐いた精液も男達はかき集めてジヨッキに注いでいく。これは雫を肉体的だけでなく、精神的にも追い詰める為に書かれた台本だ。40時間経過後は精液が小便に入れ替わる。撮影は残り19時間。雫の苦しみはここから本番を迎えようとしていた……

男達は交代で休憩を取るが、雫には食事も休憩も一切与えられない。

撮影開始から30時間が経過した所で精液が溢れるほど注がれたジヨッキを飲めと渡され、

雫はなんとか飲み干そうとする。しかし次々にジヨッキに精液が注がれ

いくらか飲んでも減らない。次第に雫の腹は精液でパンパンになり、

飲んで吐く、吐く、繰り返していった。しかし男達はジヨッキに精液を注ぐのをやめない……



詩音の出演作の題名は「豚犬」
手足を拘束され、視界も奪われた状態で
少女が厳しい調教によってペットに
なり果てる様を描く長編作品だ。

百を超えるルールが決められており、
例として、まず主人の命令は絶対である。
言葉を発するのは禁止。鳴き声は豚声のみ。
便器の中の水以外を飲んで是不ならぬ。
許可のない排泄禁止。排泄は大小問わず
10秒以内に済ませる…等々。
肛門に固定されたデイルドには30万ボルトの
スタンガン機能が備わっており、ルールを
破った場合に罰として電流を流される。

撮影開始から二週間、
食事はいつも男達が
咀嚼し吐き出した
残飯に唾や痰、
尿や精液、嘔吐物
までが混ぜられた
完全な汚物
だった。

初めの数日は
何度も吐いて
電流を流された。
しかし今の詩音に
この汚物を食べる
事に戸惑いはなかった。

詩音は調教によって
自分が豚犬である事を受け入れていた…。
汚物を前に詩音は主人の許可を待ち侘びていた。



朱音は新たな撮影が始まる直前に
脱獄を試み、失敗してしまった。
「監獄」は基本的に囚人の商品価値を
維持する方針だが、脱獄だけは
厳しい対応を取る。

急遽、撮影内容が変更された。題名は「中毒少女」
脱獄を試みた囚人に対し行われる懲罰撮影の内の一つである。
内容はシンプルで様々な薬物を投与され、狂い壊れていく
人間の過程を固定カメラで観察するものとなっている。
すでに10種類以上の薬が投与され、朱音の体はもう
取り返しつかない状態になっていた。
そんな自分の状態を本人はすでに理解出来ていない。
今、朱音は激しい快感と途方もない幸福感で絶頂の渦にいた。
だが救いの訪れない「監獄」において、この状態こそが
苦しみから解放される唯一の救いと言えるのかもしれない…。

ソフィアが出演する事になったのは「拷問品評会」
嗜虐趣味の顧客達が提案し、厳選された様々な拷問方法を
囚人で試し、品評する「監獄」の人気作品となっている。
拷問を受ける本人の苦しみ方、叫び声、拷問としての
美しさなどが評価の対象となる。

あああああああ

今、ソフィアが受けている丸太と重りによる串刺しの拷問は
前作で最も高評価だった拷問だ。この後から新作の為に
提案された拷問が行われる。つまり本番はまだ始まっていない。
今回は優秀な提案が多くあり、行われる拷問の数は30を超え、
過去最大ボリュームの作品となる予定だ。
この日の撮影はソフィアに死を懇願させる程に
過酷極まるものだった…。

ギシ…

ギシ…

「監獄教室」は
公開後すぐに
ヒット作となり
続編の制作が決定した。
特に泉は顧客からの高い評価を受け、
教師役として続投が決まった。
生徒役には新たな少女達が用意され
泉は撮影が始まるまでの間、
少女達と共に過ごした。
少女達にとって怯える自分達を
慰め、励ましてくれる
泉の存在は心の支えに
なっていた…。

しかし、「監獄」は残酷にも生徒達に先生の拷問を行わせる台本を用意した。
泉は激しい拷問に耐えながら、雫、詩音、朱音、ソフィアの無事を祈った…。
「監獄教室」…そこは教師も生徒も苦痛を学び、悶え苦しむ場。
この教室には絶望に繋がる未来だけが待っている…。



サークル楽園屋の楽と申します。
この度はご購入頂き、誠にありがとうございます。

17作目です。久しぶりのハード凌辱作品ですね。過去作の刑場娼館から舞台は変わりましたが、やってる事自体はそこまで変わりません。主要キャラは5人と結構欲張ってしまいました。今作はカラー一人ひとりにそれぞれのエンディングを用意したかったのですが、ページの都合的に残念ながら入らなかった案もありますが、それは、また別の機会に描けたらいいなと思っています。

絵に関しては今までで一番苦戦しました。作業量が多くて大変だった事は過去にもありますが、今作は違う理由で、単純に自分の画力が問題でした。思うような絵を描けず、ボツにしたラフや一からの描き直しも多かったです。過去作でも上手く描けず悩む事は毎回ありましたが、今作程、長く悩んだのは初です。ただ苦戦した分、今の自分の限界を出せたと思いますし、成長に繋がったとも強く感じます。当然、まだまだ未熟なので理想に近づいていける様に努力します。…そんな事情で制作開始当初の予定よりも、完成がかなり遅れてしまいました。FANBOXでご支援いただいた皆様、予告を見て発売を待っていてくれた皆様に改めて、心から感謝いたします。

内容は上に書いた事以外だと…文章がいつもより少し長文が目立ちますね。もう少し簡潔に表現できたらいいのですが…絵以外の勉強も必要ですね。

次回作は描きたい物が色々あって、どれを描こうかまだ迷っています…。どれを描くか決めたら、なるべく早めに制作に取り掛かるつもりです。

それでは機会があればまた別の作品で。ありがとうございました。

2023年5月8日 楽園屋 楽

Pixiv ID 41315964

FANBOX <https://rakuenya.fanbox.cc/>

Twitter @rakuenya

※違法アップロードは犯罪です。10年以下の懲役もしくは1000万円以下の罰金またはその両方が科せられます。違法アップロードには発信者情報開示請求、損害賠償請求などの法的手段をとらせていただきます。

※2020年10月より改正著作権法が施行されました。

リーチサイトの運営、侵害コンテンツへのリンクの掲載も違法となります。

2021年1月より違法にアップロードされた著作物のダウンロードは刑事罰の対象となります。一定の要件の下で私的使用目的でも違法となります。

※本作は有償で提供している作品です。

注意事項！

・本作品はフィクションです。実在の人物、団体等とは一切関係ありません。

・18才未満の閲覧禁止

・無断転載・複製・複写・頒布・共有・改変・翻訳を禁じます。

・無断転載を行った場合、著作物使用料を請求致します。

・本書の内容には犯罪行為の描写がありますが、犯罪行為を推奨するものではなく、実際にこのような行為を行った場合、法律により罰せられます。絶対に真似をしないでください。

・違法アップロード等の著作権侵害行為を発見した場合、損害賠償請求、著作権侵害での警察への通報等の対応を取らせて頂く場合があります。

caution

Illegal upload, unauthorized reproduction, duplication, copying, distribution, sharing, modification, and translation are prohibited.









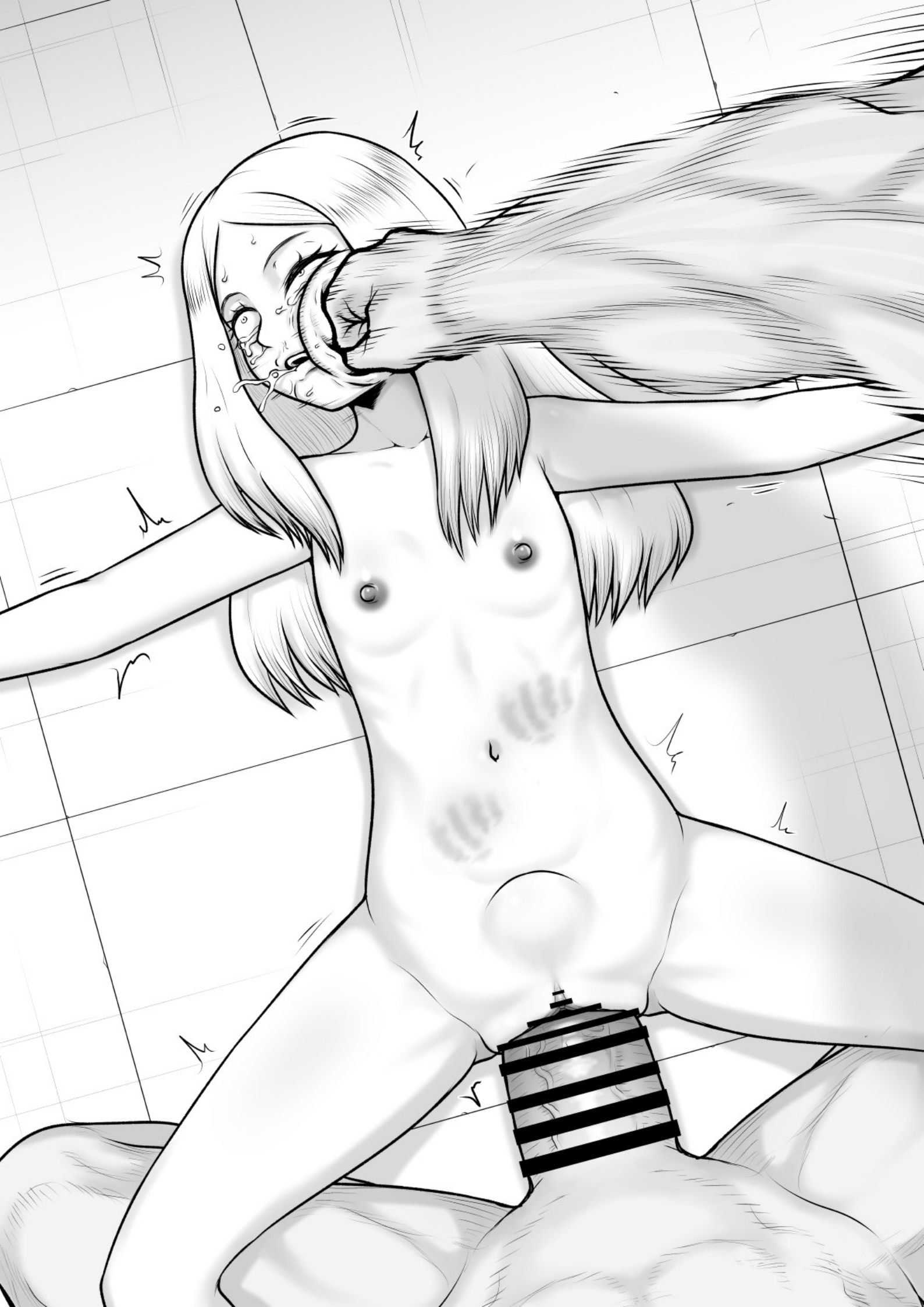




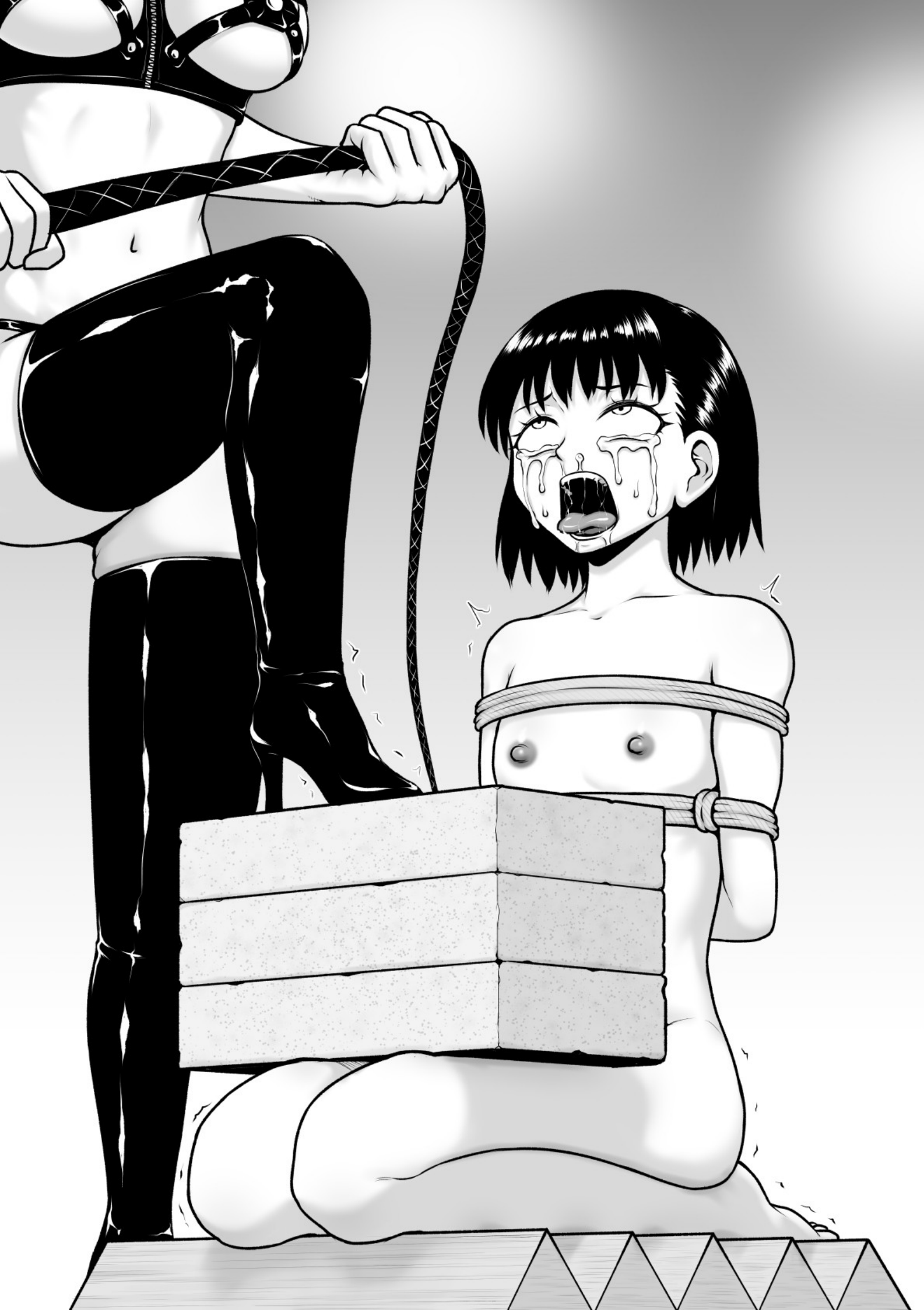






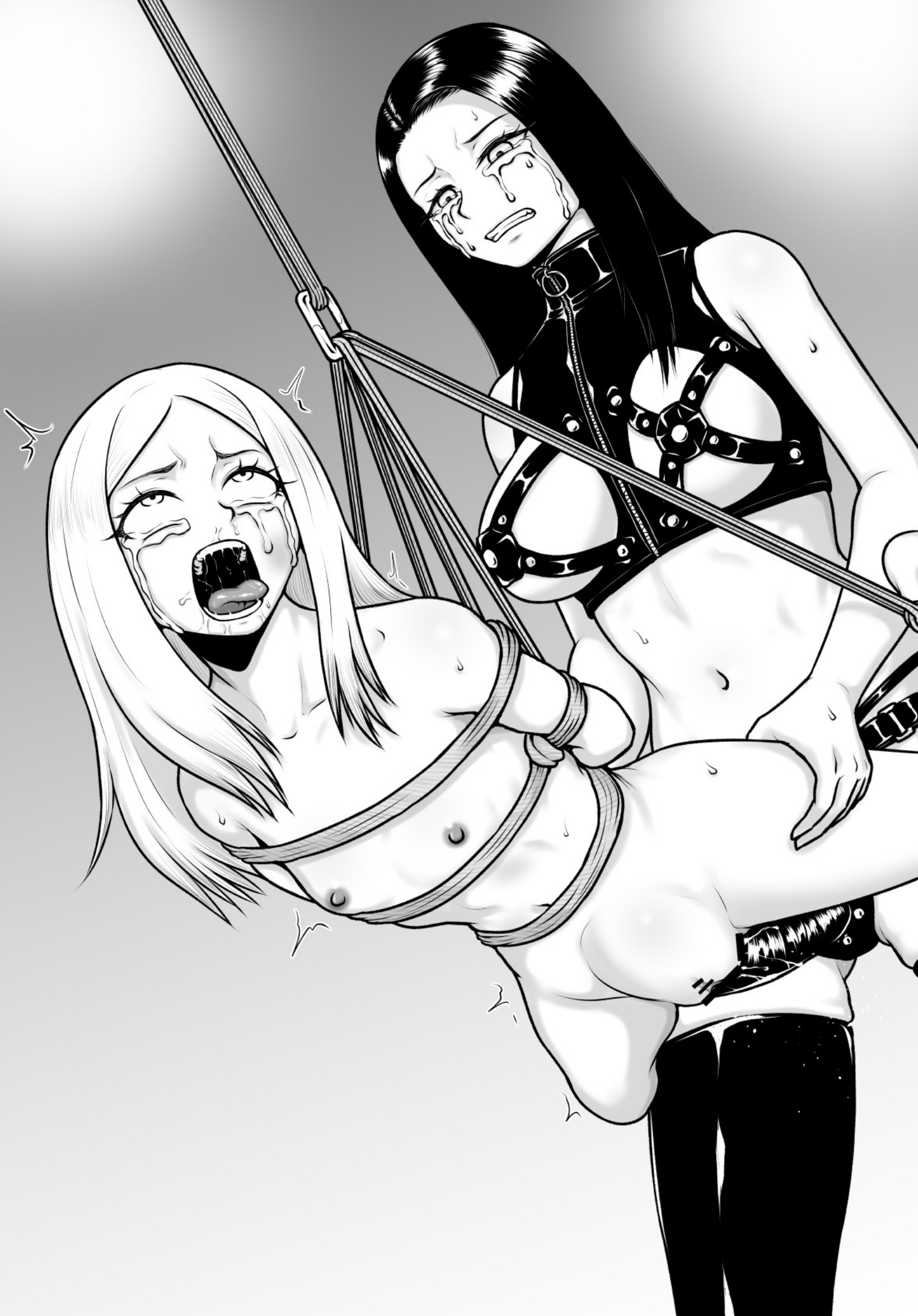




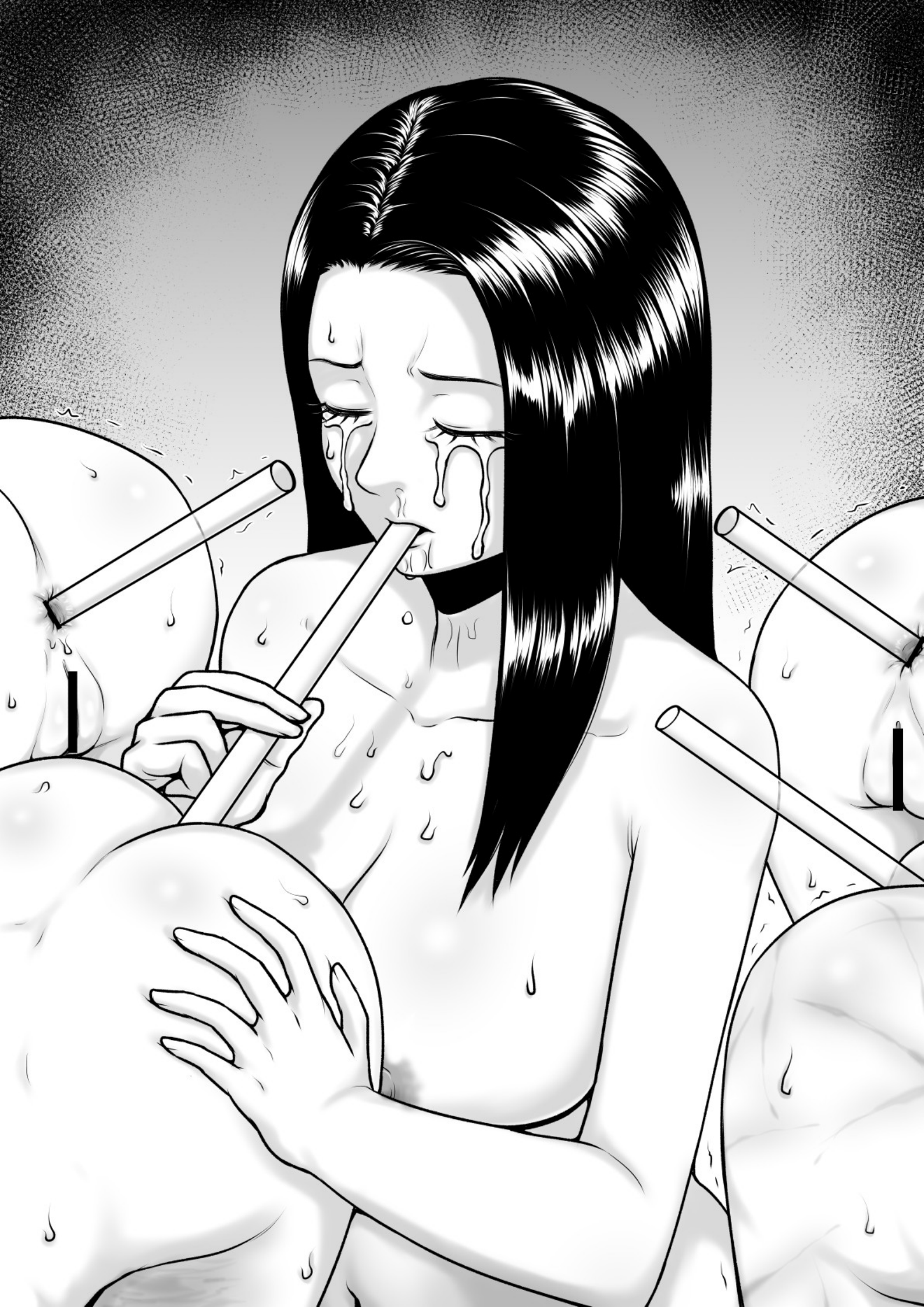












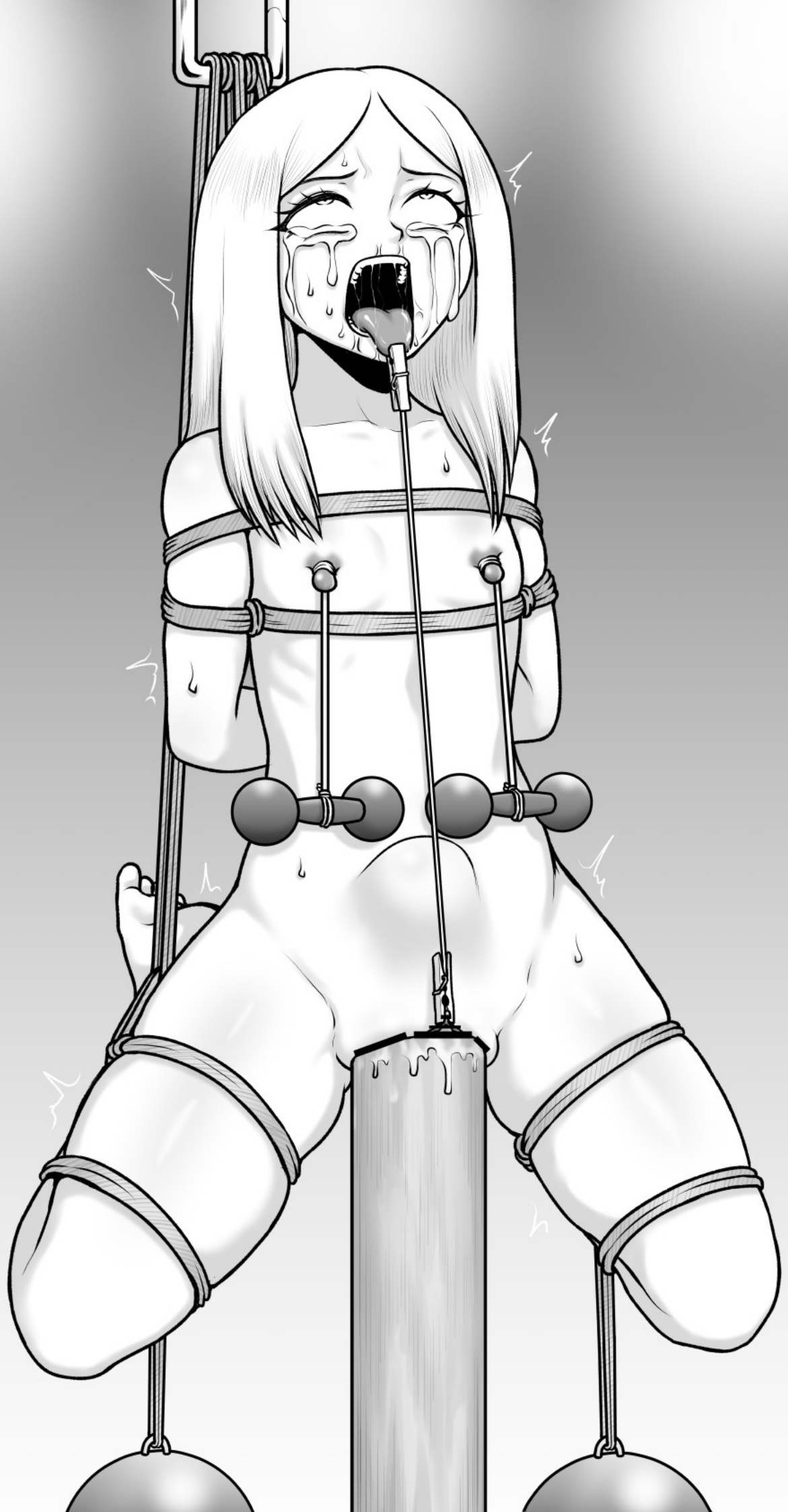


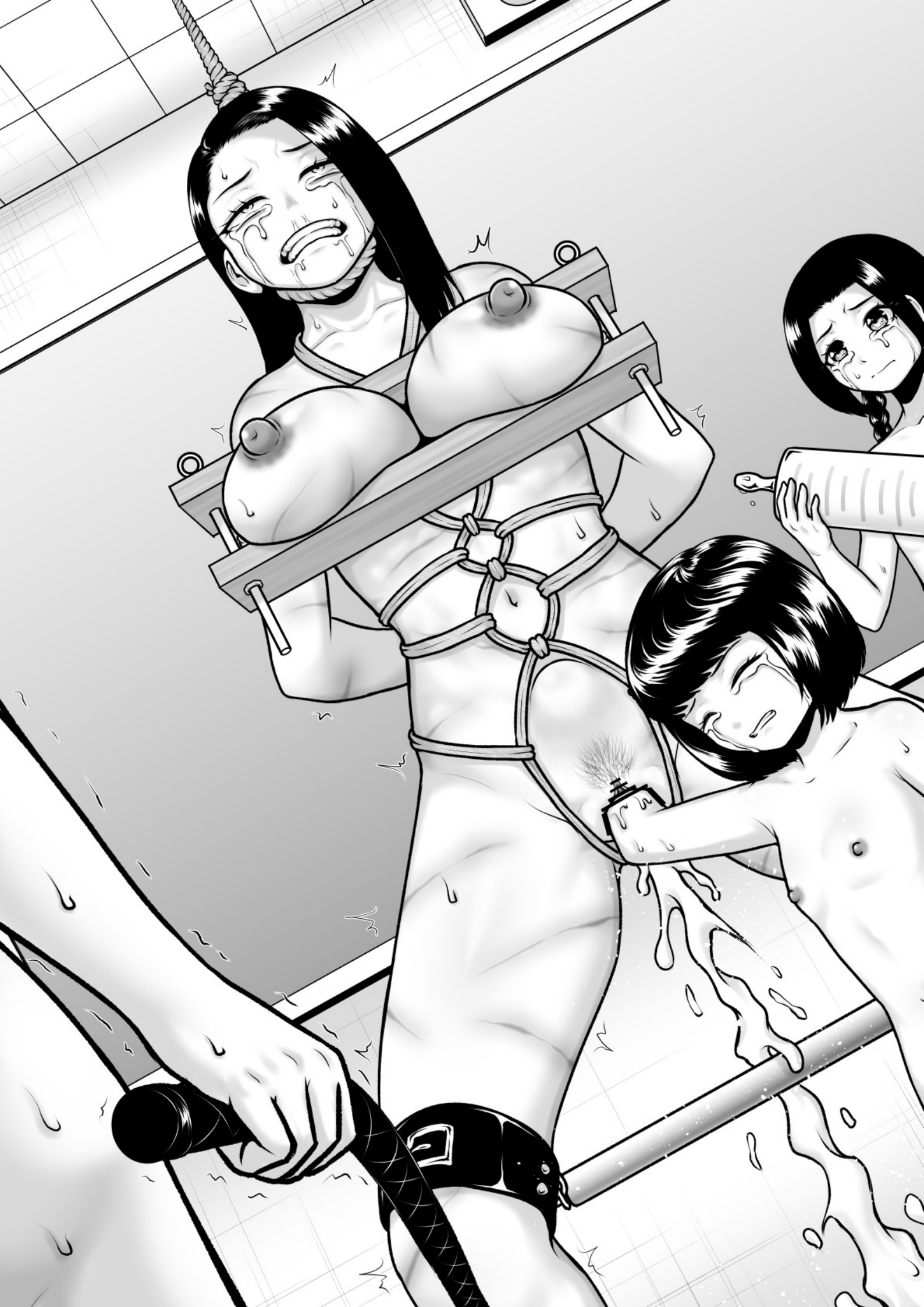














※違法アップロードは犯罪です。10年以下の懲役もしくは1000万円以下の罰金またはその両方が科せられます。違法アップロードには発信者情報開示請求、損害賠償請求などの法的手段をとらせていただきます。

※2020年10月より改正著作権法が施行されました。
リーチサイトの運営、侵害コンテンツへのリンクの掲載も違法となります。
2021年1月より違法にアップロードされた著作物のダウンロードは刑事罰の対象となります。一定の要件の下で私的使用目的でも違法となります。
※本作は有償で提供している作品です。

注意事項！
・本作品はフィクションです。実在の人物、団体等とは一切関係ありません。
・18才未満の閲覧禁止
・無断転載・複製・複写・頒布・共有・改変・翻訳を禁じます。
・無断転載を行った場合、著作物使用料を請求致します。
・本書の内容には犯罪行為の描写がありますが、犯罪行為を推奨するものではなく、実際にこの様な行為を行った場合、法律により罰せられます。絶対に真似をしないでください。
・違法アップロード等の著作権侵害行為を発見した場合、損害賠償請求、著作権侵害での警察への通報等の対応を取らせて頂く場合があります。

caution
Illegal upload, unauthorized reproduction, duplication, copying, distribution, sharing, modification, and translation are prohibited.